



長 崎 県
中小企業家同友会

DOYU

ニュース
21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

同友会理念を学び深め、21世紀を切り拓く企業づくりを ＝地域に根ざした人間尊重の企業づくりを＝

五島支部設置委員会 第1回現地協議会開催さる



2012年9月18日に第1回五島支部設置委員会が開催され、松田一成委員長のもと、五島支部設置に向けて具体的な活動が始まりました。

委員会では五島における「同友会を知る会」の実施計画、予算検討、チャーターメンバーの選出など多岐にわたる内容と、五島という土地の特性を踏まえた上で支部設立に向けて慎重に議論がなされました。

第3回の委員会では「現地協議会」開催を決定し、10月28日、29日の2日間で第1回現地協議会を開催しました。長崎からは松田委員長をはじめ、合計9名が現地入りし、現地で諫早支部和田さんと合流、同時に現地のチャーターメンバーともいえる7名の方と現地協議会及び懇親会を行ないました。

現地協議会では現地の方と様々な話題になりました。強く感じたことは、「五島の経営者はすご



く悩んでいる、困っている」ということです。他団体もあるのですが、同友会のように、経営者が真剣に学ぶ場がないようです。ただし、なんとか自社をより発展させたい、五島の経済を良くしたいという想いは皆様持っていらっしゃる。まさしく同友会の存在が必要だという事を感じた時間でした。

12月10日・11日には第2回現地協議会が開催され、前回のメンバーに加え数名新規の方も参加されました。その中ですでに入会の意思をいただいている方もいらっしゃいます。今後は、五島での同友会スタイルでの知る会を開催し、機運が高まる中、五島支部設立へと準備を進めています。

会勢を伸ばすために、長崎同友会にさらなる発展と活性化をもたらすために新支部設立は欠かせない要素だと考えています。会員の皆様もお忙しいとは思いますが、五島の経営者のご紹介をいただき、長崎同友会が益々の発展を遂げるべくご協力をお願いいたします。

(文責 峰 圭太)

目次

五島支部設置委員会 第1回現地協議会開催さる … 1	新入会員紹介 …… 11
11月例会報告 …… 2	コラム …… 12
2012年度 第1回女性部連絡会 …… 8	会員活躍 …… 12
2012全国広報・情報化交流会 in 大分 …… 9	1月例会案内 …… 13
第16回障害者問題全国交流会 in 大阪 …… 9	理事会報告・会員消息 …… 14

長崎支部 浦上地区会 例会報告

日 時	11月20日(火) 午後6時30分
会 場	ギャラリーヘキサ
テ ー マ	「100年企業を目指して」 ～社風を垣間みる～
報 告 者	(株) 昭和堂 代表取締役 永江 正澄 会員



「販売促進サポート会社」永江さんが代表を務める(株)昭和堂にはこんな肩書きがついている。この肩書きだけをみれば一体何の会社かと思う方もいるはずだ。

(株)昭和堂は印刷業として永江さんのお父様が創業。そして時代の変化に伴い会社も絶えず変化し続けてきた。特に印刷業界はパソコンの普及により経営環境が悪化。写植、製版業者が相次いで倒産。印刷業界にもこの波が押し寄せてくると考えた永江さんは、印刷業だけの事業展開に危機感を持つようになる。

永江さんは語る。「企業には4つの選択しかない。存続、売却、廃業、倒産だ。我々が選択するのは存続だ。」その為にはどうすればよいのか？永江さんは企業の存続意義を改めて問い直した。そして打ち出したのが冒頭の肩書きだ。これは文字通り顧客に対し、販売促進策を提案し支援するという事。当然ながら営業スタイルも変化し、営業マンには幅広いスキルが必要となる。必然的に社員教育に、より力を入れるようになる。永江さんは会社を「人間形成の場」と捉え、新入社員にはまず挨拶から教え込む。学校みたいな会社だという方もいる程だ。また、幹部社員にも学びの場を設け、日々研鑽に励んでいる。

「人間だけが賞味期限を延ばすことができる」報告の中で繰り返し発せられたこの言葉。

その為には何をすべきなのか？その答えはこの社員教育の中にあるのだろう。

また、経営指針は経営者の「生き様」だとも語られた。多くの事を社員に求めれば、それ以上のものがリーダーには求められる。「俺は200人の社員とその家族を背負っている」そんな覚悟を永江さんから受け取ることができた。



厳しさを持った語り口の中で、やさしいトーンに変わった場面があった。それは「昭和堂の仕事が本当に役に立ったよ」「昭和堂の社員の対応はいいね」そう顧客に褒められた時が一番嬉しいと語られた時だった。そしてその表情の裏に永江さんの多くの苦労をも垣間見ることができた。

永江さんは東京で大学を卒業し就職。その後、後継者として(株)昭和堂印刷に入社した。

曰く「今まで働いた中で一番居づらい会社だった。」そして福岡支店の新設に伴い、真っ先に手を挙げ、逃げるように福岡へ。認知度もなくまったくゼロからのスタートだった。門前払いや饅頭屋に間違えられるなど悔しい思いを経験する。しかし1日15件のノルマを課し、飛び込み営業の日々。厳しく断られると次の営業には行きたくなる。そんな時は車の窓を閉め「俺はできる。俺はできる」と大声で叫び、頭を空にして次の営業へ。そして苦労の末、8年9ヶ月で売上3億を達成し、その実績を引っさげて長崎へ。ところが数年後父親から社長を引き継いだ時には、借金が30数億円あり、いきなり諫早一の借金王。そんな福岡での苦労や引き継いだ時の苦労を乗り越えてきたからこそ社員に厳しくそして自分に厳しくできるのだろう。

報告の感想として「決算書のオープンは自社でも取り入れたい」「社員教育が素晴らしい」「経営計画をカーナビに例える話は分りやすかった」等があった。

また、テーマ「今、あなたの会社に必要な変化は何ですか？」に対し、「同業他社と扱う商品が同じなので仕入先、売り方、売り先を変える」「変えていくものと、守っていくものをきちんと判断する」「時代の変化を感じ、まず社長から変わらなければならない」等の意見があった。

永江さんは最後にこう語られた「自分を一番後押ししてくれるのは父親である。生活を共にし、衝突もするが一番の理解者である。」

(文責 西村浩文)

長崎支部 出島地区会 例会報告

日 時	11月28日(水) 午後6時30分
会 場	サンプリエール
テ ー マ	「人を知ると組織が動く」 ～社長の価値観と従業員の価値観は違う！ 「経営指針書」の役割～
報 告 者	有 RENU 柏木 駿二 氏（佐賀同友会）

今月は、出島地区会中村地区長のご尽力で、佐賀同友会西支部から柏木駿二さんをゲスト報告者にお招きしての例会が実現しました。

柏木さんは、建設関連の防水施工店を経営する傍ら、自らの壮絶な闘病生活を従業員や身近な人に助けられて完治し、そのことがきっかけに「人の役に立つ仕事がしたい」との強い価値観が生まれ、現在は心理学などの学びから、その知識を生かしたコンサルティングもなさっております。

人材育成や、後継者育成塾の他、経営者の悩みにも、経営者の立場を理解して相談にのっております。



柏木さんの人生体験と経営体験の報告は、「価値観」と「協働」がキーワードでした。「協働」とは「協力して働くこと」という意味で、これからの日本的経営のテーマと言えます。「価値観」については、テーブルディスカッションの中で、

ライフワークカードから大切だと思うキーワードを選び発表するワークを全員で行い、各々の価値観を聞くことで、「価値観が違う人間が会社でも働いている」ことを実感しました。続く「価値観の違いを楽しもう！」をテーマにしたディスカッションでは自社での社員の価値観を知る方法を考えました。



最後に、座長を務められた中村地区長は、今回の柏木さんの報告を振り返り、

- ①経営者側の価値観を理解される前に社員の価値観を理解することが大切である
- ②経営指針書の役割のひとつは社員との価値観の共有であり、価値観を共有し合う場が職場における協働性の形成につながる
- ③経営指針書の役割のもうひとつは、社長の決意や社員への約束を表記することにより、自分自身を律するための行動規範になる
- ④そして何よりも経営者自身が心豊かで、健康であることがもっとも大切である

とまとめられました。

「いい経営者」への手掛かりがまた一つ見つかった充実の例会でありました。

（文責 橋本桂子）

大村支部 例会報告

日 時	11月13日(火) 午後6時30分
会 場	長崎インターナショナルホテル
テ ー マ	「本当に必要なのか条例は？」
報 告 者	大村支部 政策委員会

今回の例会は、平成24年11月10日中小企業振興条例の早期制定を求め大村支部政策委員会が中心となり進めていた、大村市中小企業振興基本条例案を大村市へ提出したことを受け、今年度大村支部例会2番目に多い参加者となり関心の高いテーマでの例会となりました。

例会の形式は大村支部初めての「パネルディスカッション」進行はコーディネーターの政策委員会

副委員長北村さん、質疑回答は、大村市振興条例の立役者、政策委員会委員長富永さんにより進められました。富永さんが振興条例を策定するに当たり、苦労された事、策定された印象、策定された方々がどの様な気持ちで策定したのかなどを報告されました。

その後、コーディネーターの北村さんから、会場内の例会参加者へ振興条例に対して質問の有無を投げかけられました。

参加者からは、条例が制定されれば、誰が運営するのか、産業支援センターと商工会議所の役割の相違点など事務運営上の事や、わかりきった事をなぜ今条例にしないといけないのか、基本理念の重要性など多々の質問があり、さながら公開討

論会のように白熱していました。

今回のテーマ「本当に必要なのか条例は」いうことに対してですが、中小企業環境を整え良くしていく事で、それがその地域に住んでいる市民、また市の環境が改善するのであれば必要だと思うし、まずは十分に理解できなくても活動・運動といった形で継続的に行うことが大事で、その指標となるものが今回の条例ではないかと感じました。

政策委員長の富永さんが「条例がスタートで

あってゴールではない」と言われていました。まさにそれが今回のテーマの原点であると思いました。

例会の最初と最後にコーディネーターの北村さんが、「何の知識もない人に振興条例の説明ができますか」という問いかけをされたのですが、最初は1・2名だったのが最後には約10名に増えていました。大村支部の皆も少しずつ進化し効果があった例会でありました。

(文責 首藤洋一)

島原支部 例会報告

日 時	11月15日(木) 午後7時
会 場	ホテル南風楼
テ ー マ	『地元で出来る事』 ～シンプルに考える～
報 告 者	(資)内島材木店 代表 内島 範喜 会員

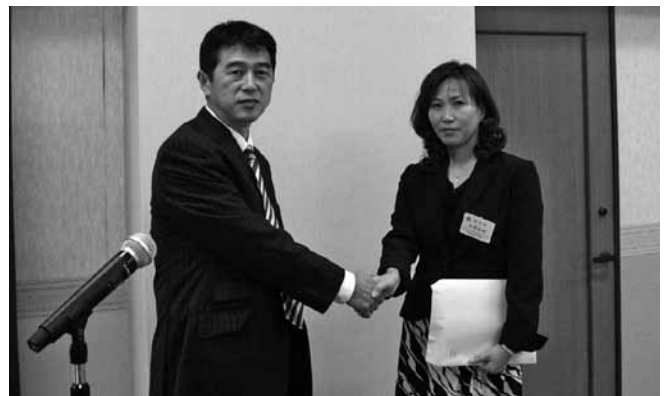


今回は我が島原支部の例会委員長、内島さんの報告でした。内島さんが経営されている(資)内島材木店は創業明治六年で、なんと社歴が約140年もあり長崎県内で一番老舗の材木店だそうです。その6代目として材木だけでなく古材や太陽光パネルの販売、NPO団体の設立など大変活躍しておられる内島さんですが、順調に代を引き継いでこられた訳ではありませんでした。

学校卒業後、材木についての勉強の為大阪の岡本銘木店に入社し働いていましたがお父さんが急逝された為、島原に戻り内島材木店に入社されましたが右も左も分からず大変苦労されたとの事でした。

まず都会と田舎の仕事に対する姿勢や時間の感覚の違いに驚き、少しでも会社を変えていかねばと思いつつも、なかなか改革が進まず一人で夜明けから深夜まで働き詰めの毎日でした。その上、材木に対する目利きや知識がまだ足りなかった為、仕入業者に騙されて低品質の材木を高値で買わされたり裏切られたりして仕入でも大変苦労したとの事でした。

どうにか会社を変えていきたいと試行錯誤しながら努力していても批判的な人もいて悔しい思い



をされたようです。しかし、「頑張れ!」とずっと応援して下さったお客様もいて、「人とのご縁は大切に」「時間があれば人と会い話を聞く」というのがモットーとなっていたようです。

いつも内島さんが口にする「頼まれごととは試されごと」の心構えで、無理だとは思わずどうしたら出来るかと考える。断ったらチャンスも逃げる。

何事もまずはやってみようと社員にも指導しているそうです。これからは材木も県産にこだわって販売する時代が来ると県産材の会を立ち上げ県から一目置かれる会となっています。

古材のネット通販も始め在庫数も九州一との事。現在は太陽光パネルの販売や島原 I ターン U

ターン事業などいろんな取組みもしています。最後に「社長は腹をくくれ、腹をくくれば出来無い事はない」との言葉に内島さんの今後の意気込みを感じました。

(文責 坂田考功)

諫早支部 例会報告

日 時	11月16日(金) 午後6時30分
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	「会社の品質を上げるために」 ～社員教育をどのように行なってきたか～
報 告 者	(株) ドゥアイネット 代表取締役 土井 幸喜 会員



諫早支部 11 月例会は、11 月 16 日(金) 諫早観光ホテル道具屋にて、(株) ドゥアイネット代表取締役土井幸喜さんをお迎えして報告していただきました。今回はオブザーバー例会ということで、

会員 33 名、オブザーバー 9 名、他支部から 1 名の合計 43 名の参加者があり熱気で大変盛り上がった例会となりました。

テーマは「会社の品質を上げるために」～社員教育をどのように行なってきたか～という経営者が誰しも、大変頭を悩ませている問題についての実践報告でした。

創業は平成 8 年 4 月で、翌年法人化し、今年で 16 期を迎えられました。社員数 15 名で年商は 1 億ちょっとという、コンピュータプログラミン



グの会社です。平成 21 年度長崎県経営品質賞 経営革新賞受賞、平成 22 年度全国企業品質賞 最優秀賞受賞を獲得されました。さすが、賞をもらえるだけあって、よくもまあこれだけの事を社員と共に実践されているなあ、と感心を通りすぎて感動を覚えました。自分が経験して良かったことだけ実践しているので社員の反発はあまりないということでした。又、入口を狭めて価値観のあう人だけ採用しているということです。同じテーブルのオブザーバーの方が今日はものすごく参考になったと感動され早速入会の決意をされました。自分に厳しく、人に優しく、社員の人間教育に命をかけて、『日本一働きたい会社にしたい』という情熱あふれる、まさに教育者と言っても過言でない土井さんでした。

(文責 松田 卓)



新 商 品

長崎さるくマット

ダスキン栄進
TEL823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎支部 出島地区会)

広告募集

< 4 cm × 9 cm >

複数月 割 引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000

佐世保支部例会報告

日 時	11月16日(金) 午後7時
会 場	佐世保市民会館 会議室
テ ー マ	『私の人生(金融機関)、 苦難をバネに日々精進』
報 告 者	マニユライフ生命(株) ユニットマネージャー 糸瀬 新 会員



今回は、入会半年の糸瀬新さんに報告をしていただきました。

上対馬出身で子供のころより、プロ野球選手に憧れ、高校は海を渡って諫早高校野球部に入部。四番打者で、県内でも注目された選手でしたが、肩を壊されプロの夢は消え、社会人野球部のある親和銀行からさそわれ入社しました。2年間、野球部に在籍されましたが、やはり肩の調子が悪く、そのあとは銀行員としての生活、若い頃はハチャメチャな銀行員、上司に叱られているばかりでした。

ところが五島転勤で、誉めてくださる上司との出会いで、仕事にヤル気が出て日々営業活動に励み、島原の南有馬支店でも、1日100件の訪問。そして成績を残されました。

グループディスカッションでの質問で『毎日、100件訪問は、大変だと思いますが、苦しくなかったですか?』と『営業の極意を教えてください。』との答えが、私には大変勉強になる解答を聞く事ができました。その答えは『1日100件回って、辛い思いはありませんでした。仕事を楽しんでいました。』また、極意は、『どんな事があっても通い続ける事。あきらめずに人間関係を構築



することです。』との解答に、心に大きな心柱を打ちこまれた感じを受けました。

現在は保険業界で働かれています、銀行時代の人間関係に加え、新たな人間関係を築かれています。グループディスカッションでは、「あなたのポリシーは何ですか?」のテーマで意見を伺いました。その中で「いつでも挑戦する事の大切さ」や「クレーム処理は逃げずに、まっ先に行く事」等が、今回の発表・グループディスカッションで学びとなりました。

(文責 江口陽一)

トリナソーラー太陽光発電の販売協力店を大募集!

トリナソーラーは 1kwあたり 30万円代 取付費込

超ローコスト! しかもハイパワー!

産業用50kw以下のコンパクトな小規模発電所プランをパッケージ販売!

スマホ(アプリ)で発電量を管理できる

トリナソーラー正規特約店

(資)内島材木店

TEL0957-62-2022

長崎県島原市新馬場町 <http://uchijima.jp>

建築古材屋

▼古材ショップのホームページは <http://www.kentikukozaiya.co.jp>

検索

↑内島のECO提案↓

現代社会に、わずかしが残っていない良質の古材を保護し、再利用していきます。古材は、地球の宝だと考えます。

もちろん住宅用もOK!

使えぬ古材 売ります! 買います! 活かします!

北松浦支部 例会報告

日 時	11月22日(木) 午後6時
会 場	農業法人(有)きのこ屋(田平工場)
内 容	会員企業訪問

～経営理念～

何事にも高い思想で挑戦し従業員が満足できる会社を目指します
我々一人ひとりが、きのこ経営に従事し、「職」「食」を通じて家族貢献・社会貢献をします
人類の生活に必要な食材を生産する職業に就けたことに感謝し、その果たすべく役割の重要性を実感し行動します

その理念を忠実に実践している会社です。地域の雇用を生む事により地域貢献する事を第一に考え行動をする。成長している企業に共通するポリシーを感じました。

会社訪問後に工場も見学させていただきましたが、本当に「野菜の工場」でした。天候にも左右されない現代的な設備に、これからの農業を感じました。

電気の使用量も多く、無菌状態を保たなければならない等ご苦労も多いようですが、新しい品種・加工品の開発、販路の開拓、工場の省エネ化にもチャレンジされておられます。

現在は震災の風評被害で一時的にきのこ離れが起き、売上もピーク時の3割ダウンと苦戦されていますが、生産から消費までを自社で行うという夢を大村さんが熱く語っておられました。



近い将来、会社の収益の大きな柱になっていく事でしょう。トップファーマー「西の端きのこ屋」が大きな夢に向かって、さらなる成長を遂げ、日本一のきのこ屋になる日を楽しみにしています。

(文責 内海浩幸)

青年経営者会例会報告

日 時	11月21日(水) 午後7時
会 場	プライムステージ 3階
テ ー マ	「会社を存続させる仕組みづくり」 ～含み資産と利益余剰金の違い～
報 告 者	税理士法人アップパートナーズグループ (株)内田会計事務所 (株)ホロスプランニング 川本 昇平 氏

今回の青年経営者会は、川本昇平さんを講師にお招きして、会社の利益の運営テクニックや退職金の作り方、赤字の補填など、保険を上手く使った資産運営について報告していただきました。

法人では、保険(生命保険など)を上手く使う方法がいっぱいあるという発見がありました。従来の考えでは、生命保険やがん保険というものは病気への対策として加入するものだと思っていましたが、川本さんのお話を聞いて保険の概念の幅



が広がりました。

会社の売上をその年度に税金を払って現金預金にするか、それとも保険(経費で落とせるもの)に入って何年後かに解約し、その年度の一時所得として上手く使うか。この方法を有効活用したら節税にもなるし、先にあるかもしれない思わぬ赤字や退職金にも利用できることになります。しっ



かりした5年、10年計画があれば、保険の種類によってはかなり高い割合の掛金を戻すことができるそうです。

また、個人事業主や小規模の法人への共済制度「小規模企業共済」も興味深いお話でした。経営者は何年後かにある自分の退職金のことも考えないといけないのです。保険や共済制度など、まだまだ知らないことがいっぱいあることを知りました。無知の知です。

例会後にはさっそく経済交流があったみたいです。これからも青年経営者会では実践的な勉強会を開催していき、経済交流を図りたいと思います。10年ほど前はプロのミュージシャンとしてドラムを叩き、全国を行脚していた川本さん。CDも出されています。YOUTUBEで「エレキバンドオコノミヤキ」と検索したら観られます。

(文責 長崎支部 浦上地区会 橋本裕次郎)

中同協

2012年度 第1回女性部連絡会

日時：9月10日(木) 13時 会場：東京同友会 会議室

報告者：中同協女性部連絡会担当役員、各同友会事務局長、

中同協女性部連絡会代表 系数久美子氏

諫早支部 石橋ゆかり

まず始めに、内閣府男女共同参画局調査課分析官の高村氏より「女性の活躍促進による経済活性化行動計画～働く『なでしこ』大作戦～について説明報告がありました。

経済成長のためには、女性の活躍を進めることが有効であることを示し、その実現に向けた課題について話されました。

女性が社会で活躍しやすい環境づくり等についての話があり、男性も意識も変えていかなければならないということでした。また、女性の起業家を増やしていく為には、女性の起業家を集めてセミナーを開いたりし、若い人の意識を高めていく必要があると話されました。

次に北海道同友会札幌支部女性経営者部会会長の中野氏が「女性だからこそできる家づくり」について報告がありました。

家の耐震構造を調べたりする調査士として活躍されている中野氏は、家のリフォームを考えた時に、女性の視点での家作りを提案していこうと思

い、まず同友会の女性経営者に相談したそうです。そこで、段々と賛同者が増え現在は、10人で「家(うち)ネット」を立ち上げました。家ネットとは、会社の枠を超えてお客様に安心して暮らせる家作りをサポートするコンサルティング機関です。不動産仲介、インテリアコーディネーター、建築、行政書士など、家にかかわるメンバーが家作りのサポートをします。女性ならではの目線で細やかな気配りが、お客様から大変喜ばれたそうです。始めはリフォームから始まり、今では一軒家の注文も来ているそうです。

女性だからこそ出来る事があるのではと気付き、同友会の意見交換が出来、もっと女性の働きやすい職場作りを目指したいと話されました。

私は、皆さんの話を聞いて、長崎同友会に女性が少ないので、若い女性経営者を増やして、起業家を応援していきたいと思いました。また長崎県同友会の中からも業種にとらわれないチームで何か新しい事が出来ないかと思っています。

**ホームページのバナー広告を
募集しています！**

●お問い合わせ●
事務局まで
(月500円です)

～これからのくらしの器～
白山陶器

長崎 築町
なかしま

チョコ醤油株式会社

九州ゴルフ会員権取引・ホームページ制作
クランティカンパニー

長崎のお土産物
ひまわり

広告の **アクセス**
テレビCM・チラシ・ホームページ

勝茶家 株式会社 岩崎商事

長崎、福岡のホームページ制作
arttech

松永いづみ
税理士・行政書士
事務所

2012 全国広報・情報化交流会 in 大分

「中小企業が主役の時代へ『情報創造』を ～同友会の発信力を高め地域の未来をつくろう～」

日時 9月6日(木)～7日(金)

会場：レンブラントホテル大分

情報広報委員会 委員長 瀬頭信介
情報広報委員長の瀬頭で御座います。先日大分で開催されました「全国広報・情報化交流会 中小企業が主役の時代へ情報創造を」の様子をご報告します。

今回の交流会では、「ツールを広報戦略に生かす」というテーマの分科会に参加しました。近年、紙媒体、ホームページに止まらず、SNSなどの情報ツールが重要な広報ツールとして注目を集めていますが、大阪同友会では、広報誌以外に一般広報向けの紙媒体「輝くおおさか」を発行し、商工会議所を始めとした拠点に配布することで同友会活動を会員外に発信しており、対外広報ツールの活用事例として非常に参考となるお話でした。長崎同友会でも広報誌の可能性について考えさせられる内容でした。

また大分同友会からは、フェイスブックの活用事例について、同友会内でルールを作成し、そのルールに則って活用しているという報告があり、ルールの内容次第で今後のSNSの可能性が大きく広がるのではないかと感じる報告でした。

記念講演は、ベストセラー「デフレの正体」の著者としてもお馴染みの藻谷浩介さんを講師に迎え、「地域の未来をつくるために～経済データを



どう読み経営に生かすか～」というテーマで講演いただきました。経営者は、日々溢れている経営に関する様々な情報を、正確に、且つ迅速に、自分自身の目や耳で集め、その情報を読み、経営に生かすことが大切だとして講演されました。我々経営者は、絶えず変化する経営環境のなかで、次に何が起こるかを想像し、経営の舵取りをしなければならぬと再認識しました。

また藻谷さんが、講演中に居眠りしている会員を注意し、集中した聴講環境をつくられる姿勢は、我々は経営者である前に一人の人間として絶えず姿勢を正す必要があると痛感させられる講演でした。

第16回 障害者問題全国交流会 in 大阪

日時 9月13日(木)～14日(金)

会場：帝国ホテル大阪

佐世保支部 原田 良太
去る9月13日～14日にかけて「帝国ホテル大阪」にて、第16回障害者問題全国交流会が開催されました。長崎からは中村会員、橋口会員と三人で参加しました。

初日、第3分科会は大分の同友会会員である株式会社三幸興産 代表取締役 神田道子氏による「三者一体経営で地域に密着した仕事づくり」と題して、経営体験報告がありました。

神田会員は自身のお子様の障がいをつきかけに作業所の立ち上げを行い、地域福祉の向上に積極的に関わっておられました。その後家業の不動産業の取締役就任直後に同友会と出会い、経営指針

成文化セミナーに参加したりすることで、同友会理念を深めていく事となりました。

その後、障害者問題全国交流会の東京大会への参加をきっかけに「自社でも障がい者雇用に取り組みたい!」という思いを持ち、遅れがちな精神障がい分野の雇用の拡大に向け準備を進め、平成22年作業所の立ち上げに至っています。

その後、本業を中心として、作業所や農業生産法人等々の各機能を活かしながら三社一体の経営を実践されています。本分科会では積極的に障がい福祉分野に関わろうとする経営者の姿勢が地域を変えていくのだと実感しました。

翌日は全体会、盲目の落語家、桂福点氏による

講演でした。落語家だけあって、面白い要素も入れながら、時にはオペラ歌手かのような歌声も披露していただきながら、最後は本質をついたお話に心満たされて二日間を終わる事が出来ました。

本交流会の準備を中心でされた大阪同友会の豊

田実行委員長をはじめ、大阪同友会の皆様には、この大きな大会が完璧な形で終わった事に敬意を表したいと思います。また、今回の会にも参加の機会をいただいた長崎同友会の皆様ありがとうございました。

中村 こずえ

9月13日14日の2日間、大阪にて第16回障害者問題全国交流会が開催されました。

長崎からは私を含め3名が参加、感動し、学びが深まった2日間でした。

初日は全国から660名が集い、6分科会に分かれての勉強会でした。13:00から18:00までと最初は長いなあ～と思っていましたが気づくとアッと言う間に終了・・・。

私が参加したのは第1分科会「東日本大震災と共に乗り越える」その時、私たちは・・・現場からのレポート。パネルディスカッション形式で3名の方達の報告がありました。

福島で海苔の会社を経営する立谷社長は、ご自身の会社も被害を受けたにも関わらず、避難所での生活が困難な障がい者の為にビジネスホテルを建てられました。参加者からの「どうしてそこまで出来るのか？」との質問に微笑みながら「誰もやらないんだったら自分でやろうと思って・・・」この答えには全員「凄い！」としか言いようがなく、誰もが「もし自分が立谷社長と同じ立場だったら・・・」と思った事でしょう。

また、企業から自動車部品の組み立てや、除草

作業等の受託を行っている障がい者の作業所アクセスホームさくらの渡邊理事長からのお話も心に残る内容でした。「さくらは家族でした。被災後バラバラになった人達が仕事をしたいと少しずつ集まり、家族は離れてはいけなと感じました」その思いで「さくら」を再スタートさせたとのお話でした。

災害当時の話は衝撃的でしたが、どの方も前向きで明るくて参加者全員が勇気と元気を貰った分科会でした。

2日目は前日の分科会の報告があり、その後、今回楽しみにしていた落語家の桂福点さんの記念講演がありました。中学生で視力を失いますが話は出来るという事で桂福団次さんに弟子入り。不登校や死にたいと思った事等を笑いを交えながらお話下さいました。

2日間を通して、障がいがあっても希望を失わず、働きたいと思っている障がい者の方達の為に自分が為すべき事が見えて来ました。

来年は長崎から沢山の方と参加して思いを共有したい・・・とても有意義で楽しい大会でした。参加させていただいて本当にありがとうございました。

橋口 久

これをお読みの方の中で、どれくらいの方が障がい者雇用や障がいがある方とのリンクを自社の経営目標に設定されているのでしょうか？関心があってもなかなか自社の経営計画にまで盛り込んでいる方は少ないのではないのでしょうか。

私も障がい者雇用やリンクについてはずっと他人事でした。しかし、3年前の同友会例会がきっかけで、「障がい者雇用こそ、家庭的で愛情溢れる環境を持つ中小企業の役割である」と、障がい者雇用に大きな使命感を感じる事となりました。そして、今年の春から大村の特別支援学校を卒業した若者が当社の一員として働いてくれています。現在は、雇用が社員全員の笑顔を生み、会社経営の推進力にもなることを日々実感しています。

持論に過ぎませんが、障がいがある方の雇用

において、受け入れ企業の業種は関係なく、経営者に使命感のストライクが入っているかどうかの違いだと思っています。ただし、ストライクが入るかどうかは、気づきと運命と縁、タイミングが大きな部分を占めていて、皆で経営指針

書を作りましょう！SWOT分析やりましょう！ということとは取り組む導入口が違います。よって、多くの中小企業にとって、障がい者雇用は「縁を待つ」状態であることもあり、今回の障害者問



題全国交流会のような縁結びの場が貴重な役目を果たすのです。

全国の障がい者雇用に関心のある経営者664名が参加したこの交流会。私は第2分科会に参加しました。報告者は、愛媛県にあるまるく(株)代表取締役の北野賢三氏でした。北野氏の報告はグッと聞かされる内容でした。軸がぶれない経営者からは必ず聞き応えのあるストーリーが生まれます。そして、障がい者雇用は軸がぶれない会社にしかできないものだとも思っています。だから

こそ、中小企業の中でも確たる軸を持つ同友会会員企業がその責任を果たす役目を担っているのです。

障がい者雇用と経営者の縁結びの場である障害者問題全国交流会。来年は神奈川県で開催予定です。長崎県の会員の皆さんもぜひご参加ください。幸せを求めて婚活するように、より高みを目指した経営を求めるならば、障がいがある方の「雇用活」は企業に追い風を吹かせてくれることでしょう。

新入会員の皆さんです

(敬称略)

< 11月入会 >

支 部 名	長崎 (出島地区会)	
氏 名	かなめ まさみつ 要 正光	
企 業 名	かなめ事務所	
役 職 名	所 長	
企 業 住 所	〒852-8014 長崎市竹の久保町 16番8号	
T E L	095-894-7541	
F A X	095-894-7542	
業 種	社会保険労務士、行政書士	
企 業 P R	社会保険労務士業務 (社会・労働保険手続代行、就業規則等規程整備、賃金体系の見直し、助成金申請等) と行政書士業務 (各種許可申請、契約書作成等) で、企業のトータルサポートを行なっております。	
スポンサー	福井 義憲	

支 部 名	長崎 (浦上地区会)	
氏 名	きたがわ りょう 北川 亮	
企 業 名	北川行政書士・FP事務所	
役 職 名	代表者	
企 業 住 所	〒852-8023 長崎市若草町5-24 ビッグベン40B	
T E L	095-848-5789	
F A X	095-894-9979	
業 種	行政書士	
企 業 P R	会社設立手続、建設業許可、経審申請、運輸業許可、等手続に関することは何でもご相談下さい。	
スポンサー	吉澤 健	

支 部 名	長崎 (浦上地区会)	
氏 名	かねだ あきこ 金田 昭子	
企 業 名	スタジオドリームエンジェル	
役 職 名	代表取締役	
企 業 住 所	〒850-0831 長崎市鍛冶屋町5-70 YTM森永ビル202	
T E L	095-807-2896	
F A X	095-807-2896	
業 種	美容・健康コーディネーター	
企 業 P R	ダイエットサポート、ビューティサポート、健康スクール、エステスクールなど「美」と「健康」で輝くあなたをサポートします。	
スポンサー	出口 一隆	

支 部 名	大 村	
氏 名	う と しろう 宇土 敏郎	
企 業 名	チェンジングコンサルティング合同会社 (CCLLC)	
役 職 名	業務執行社員	
企 業 住 所	〒850-0875 長崎市栄町5番11号	
T E L	095-824-3534	
F A X	095-824-4068	
業 種	経営コンサルティング業	
企 業 P R	長崎の中堅・中小企業を全面的にサポートするトータルコンサルティング会社をH24・7月に設立しました。マネジメントからITまで、広範囲の問題解決をトータルに提案・支援できる、アライアンス型の合同会社です。	
スポンサー	上谷 直人	

+++++



「気持ちよくなる歯医者さんの活用法」 ～治療じゃなく、守ってもらいにイコ～ゼ！～

まちだ歯科クリニック 町田 澄利

今回は、「歯科医院の賢い活用法」についてお知らせ致します。

治療が終わってから、こんな説明を受けたことはないですか？

「今日で治療は終了です。また、痛くなったり、何かあったら来て下さいね。」これまではこのような関わり方が歯科の、そして医療の関わり方でした。そして皆さんもそれが当たり前のように思い、まだ現在でもそのような考え方が続いています。さらに、医療保険制度もそのような考え方に基づいて実施されています。

しかし、もうこれからは、痛みがあってから治療するという従来型の歯科治療から脱却して、本来のあるべき姿である「いつまでも健康なお口を維持するために歯科医院に行く」と言う考え方に変わっていませんか？何よりも、治療ではなく『歯ぐき磨き』をしてもらうのです。歯並びの悪さ、詰め物・被せ物と歯との境目の段差や隙間、そして虫歯があっても、専門のサポーター（歯科衛生士）を活用し、磨き残しの所を磨いて、進行しないように守ってもらえばいいのです。気持ちいいですし、気が楽になりますよ。

次に、歯科医院の賢い活用法で、「歯ブラシの賢

い購入方法」についてです。

歯と歯ぐき等、お口の健康を守るための清掃用具としては、歯ブラシや歯間ブラシ、フロス、歯磨き剤そして舌クリーナー等があります。これらは歯科医院にもコンビニやドラッグストアにも販売されていますが、皆さんはどちらで購入されていますか？市販のものを購入することが多いと思います。しかし、皆さんのお口の中の状態をこれらの店員さんにご存知でしょうか？また、皆さんのお口の中の状態に合わせた商品の提案をしてもらえるのでしょうか？これが良さそうだと、自己判断で購入されていませんか？例えば歯ブラシについて言うと、本来は、虫歯や歯周病の状況・歯ブラシによる清掃能力・歯ブラシ圧・歯ブラシの動かすスピード・治療履歴・食生活習慣等によって提案する歯ブラシは自ずと違ってくるのです。歯ブラシの植毛数・長さ・太さ・固さ・ヘッドの大きさ・把持部の形状をお口の中の状態に合わせるべきなのです。このように適切な歯ブラシを選択することによって、お口の健康を獲得する可能性が高くなっていくのです。

次回は、「歯磨き剤の賢い購入方法と電動歯ブラシ使用の注意点」についてお知らせ致します。

中小企業を 条例で振興

大村市長に要望書

大村市中小企業振興条例制定推進協議会（角谷省一会長）は7日、松本崇市長に中小企業振興条例の早期制定を求めた。松本市長は「市内の9割は中小企業で、育成に向け市民の関心は高い。一日も早く作りたい」と述べた。制定されれば県内初。

推進協は、大村商工会議所や県中小企業家同友会大村支部が中心となり昨年12月に設立。中小企業振興の



松本市長に要望書を手渡す角谷
倉長（右）
＝大村市役所

会員活躍

長崎新聞 11月10日

基本理念となる条例案を作成した。内容は▽市長は毎年、主な施策の実施状況を公表▽市は必要な財政措置を講じる▽「市産業支援センター」、官民で意見交換する「市中小企業振興会議」の設置―など11条。
角谷会長が市役所で松本市長に要望書と条例案を手渡し「まずは動きだすことが大切だ」と訴えた。
（田賀農謙龍）

折込サービス開始！

会員企業の皆様で制作されたチラシを広報誌と一緒に会員に配布するサービスを始めました。

毎月10日迄に事務局宛お届け下さい。発送は毎月15日～20日に行います。支部指定も出来ます。

A4チラシ1枚5円です。A3チラシは2枚分となります。ご利用お待ちしております。

1 月例会案内

●長崎支部 浦上地区会

日 時 1月29日(水) 午後6時30分
会 場 ギャラリーヘキサ
テ - マ 『楽しくなくちゃ!!』を追い求めて
報 告 者 (株) クオリティ・ケア 代表取締役
山下 修一 会員

要旨3ポイント!!で報告させていただきます。

1. 介護保険制度を少しでも理解してください。
2. シルバービジネスチャンスについて一緒に考えましょう。
3. わが社の経営指針(紹介)

★共に学ばせて下さい!! よろしくお願い致します。

●長崎支部 出島地区会

日 時 1月23日(水) 午後6時30分
会 場 サンプリエール
テ - マ ~人を生かす経営をめざして、
今は道なかば~
社員は売り上げの道具ではない。
社員を「活かす」から「生かす」へ
報 告 者 ユニオンソフト(株) 代表取締役
濱田 利夫 会員

マイクロソフトの常務、ソフトバンクの常務に見出され「手形の達人」で億万長者に!の夢は脆くも崩れ去ったが、顧客からの支持を積み上げ、売上の半分はソフト保守料となりストックビジネスの様相に。

今年60歳になり、退職まであと5~7年だが後継者が決まっていない。

あと5~7年で何ができるか? 自己の限界を知り、夢は社員に託す。

無借金経営を継続し、社員の雇用を守りつつ、自身のハッピーリタイアメントをどう目指していくのかを語ります。

●大村支部

日 時 1月17日(木) 午後6時30分
会 場 居酒屋よっとこ
内 容 新年慶祝例会
~昨年の振り返りと新年の抱負~

新年第一回目の例会は、恒例の新年慶祝例会です。来年も厳しい状況が予想されますが、笑い飛ばして乗り切りましょう。なお、同日早朝より、厄入り・厄払いの参拝を富松神社にて執り行いますので、併せてご参加をお願いします。



●諫早支部

日 時 1月25日(金) 午後7時
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ - マ 中小企業振興条例について
報 告 者 (株) 富建 代表取締役副社長
富永 栄一郎 会員
(株) みやた 専務取締役
宮田 正一 会員

中小企業振興基本条例とは何か?なぜ必要か?大村支部が今取り組んでいる現状を例に挙げ、分かりやすく報告をして頂きます。

●島原支部

日 時 1月17日(木) 午後7時
会 場 ホテル南風楼
テ - マ 長崎経済の現況
~活性化への取り組み~
報 告 者 (株) 長崎経済研究所 取締役調査研究部長
中村 正博 氏

十八銀行の関連会社で長崎県の経済を研究をされ毎月本を発行されています。部長さんをお招きして長崎経済の将来についてお話して頂きます。

●佐世保支部

日 時 1月19日(土) 午後7時
会 場 魚魚の宿
内 容 慶祝例会を予定

●北松浦支部

日 時 1月24日(木) 午後7時
会 場 サンパーク吉井
テ - マ (仮)「金融機関から見た地域への提案」
報 告 者 親和銀行 佐々支店 支店長
豊増 伸作 氏

今回の例会は、豊増支店長に北松浦の経済を率直に分析提案していただきます。

●青年経営者会

日 時 1月22日(火) 午後7時
会 場 事務局
テ - マ 「私の履歴書」
報 告 者 西村 繁彦 会員(長崎支部浦上地区会)

1月例会は青経会長として御活躍の西村繁彦さんによる報告です。現在の会社に入ってから様々な葛藤、同友会に入会してからの変化、そして会長としての思いなど熱く語っていただきます。

理事会報告

2012年12月理事会 議事録 抜粋
12月6日(木) つくば倶楽部

開会挨拶 一松尾代表理事

今年最後の理事会です。
会員数が420名前後で推移していますが、年度末500名必達に向けてよろしくお願いします。
何のための仲間づくりなのか、もう一度じっくりと考え、取り組みをよろしくお願いします。

仲間づくりについて

- 1) 入会・退会・採り下げの承認についてー承認
- 2) 仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

報告・連絡事項

- 1) 11月 県本部・各委員会・各支部・各地区会等の活動状況について
- 2) 例会について (更なる例会の充実をめざして)
一尾崎例会委員長
11月10日に委員会を開催しました。
会員拡大と例会は連動しなければいけないという意見にまともりました。
- 3) 五島支部設立 進捗状況報告ー松田支部設置委員長
ありがたいことに今回2名の方に委員参加の申し出をいただきました。
(長崎支部・出島地区会の田本さん・五島灘酒造(株)、藤村さん・藤村昆布海産(有))
また、嬉しいことに委員会では役割分担を行い、各担当者を決めるに至りました。
衆院選の最中ですが、予定通り今月、10・11日に2回目の現地協議会を開催することになりました。
現地でも2名の方に新たに参加していただける予定です。
五島では、1月27日に市議選告示があるので、招待例会は2月、同友会を知る会は3月に開催する予定です。
- 4) 中同協関係の件
①主要行事の紹介と参加促進
理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう！(申し合わせ事項)
②各参加報告
- 5) その他
書籍「新・共に育つ」(中同協刊) 紹介 (中小企業家しんぶん 11月5日号掲載)

協議・承認事項

- 1) 来期予算(活動費)についてー吉田財務委員長
定額廃止、定率1,000円、2年間の格差補助金対応を提案。
(20万→10万→0、10→5万→0)

決議事項ー提案内容について、支部役員会での協議の依頼と三役会への結果報告を依頼。
三役会で協議の上、1月理事会で再度提案します。

- 2) 2013年度に向けてー山田事務局長
「役員研修会」(来期活動計画検討会議)の開催を提案
(2月2日(土) 午後1時～ シーハットおおむら予定)

「役員研修会」(県の方針徹底、各委員会引き継ぎ 等)の開催を含め、スケジュールを承認。

- 3) 広報誌用「例会報告マニュアル」(報告内容)についてー山田事務局長(瀬頭委員長代理)
提案通り承認

- 4) 来期の経営フォーラムに関してー町田経営フォーラム担当理事
「島原支部を中心に県央地区で運営・開催」を進めていくことを確認。
島原支部役員会での再度の協議と三役会への結果報告を依頼。

- 5) 長崎支部からの提案についてー町田副支部長
①「活動の手引き」改訂の要望について
三役会として、組織の変更に伴い改訂の必要性を確認。来期、検討委員会開設を提案。ー承認

②「企業連携推進協議会」開設の要望についてー継続審議
内山支部長に具体的な活動計画、詳細な予算案等の提出を要請中。(予算案の提出あり)

決議事項ー開設の方向性は認めるが、理事会での意見を参考の上、内山支部長に直接理事会での再提案を依頼。

- 6) 会費滞納者への対応に関してー吉田財務委員長
3ヶ月以上の滞納者はなし。

- 7) 峰事務局員(9月5日入局) 試用期間終了にあたり、本採用承認の件ー西村専務理事

満場一致で本採用を承認。

峰事務局員からの決意表明あり。

会員消息

●役職変更

中村 真一郎 会員 ㈱三陽自動車工業 代表取締役役に就任されました。

●社名変更

内山 洋二 会員 (長崎支部・浦上地区会)
新社名:(有)鳴滝

会 員 数 (12月6日現在)

	目 標	期 首	現 在
長 崎	2 2 9	1 8 2	1 8 3
(浦 上)	1 0 9	9 1	9 5
(出 島)	1 2 0	9 1	8 8
大 村	5 5	4 6	4 8
諫 早	6 0	4 5	5 0
島 原	4 0	3 0	3 4
佐 世 保	1 0 0	6 9	7 8
北 松 浦	4 0	2 9	2 8
合 計	5 2 4	4 0 1	4 2 1

退 会 者 (敬称略)

会 社 名	会 員 名	支 部 ・ 地 区 会 名
キューアール	田 中 圭 介	長 崎 ・ 出 島
(有)ピーシーラーニングシステム	富 永 隆 一	長 崎 ・ 出 島
(有)池田冷熱	池 田 和 子	大 村
エムズ	松 本 満 義	諫 早
エステート丸徳 (奥様の希望で1年在籍)	徳 重 保 昭	佐 世 保

